

りくつなケアネット金澤 第9回研修会

平成 25 年 11 月 22 日（金）18：30 より、介護老人保健施設みらいのさと太陽にてりくつなケアネット金澤第9回研修会を開催しました。今回はみらいのさと太陽の職員を含めて 146 名が参加しました。

今回の目的は、在宅復帰施設である介護老人保健施設における各職種の役割を再考することでした。講義「介護老人保健施設とは」、事例報告「介護老人保健施設の機能・役割を生かした事例」を受けたあとに、困難事例を提示し、「その時できたこと、今だからこそできることを話し合ってみよう！！」をテーマにグループワークを行いました。

以下にアンケートに寄せられたみらいの里太陽職員の感想を掲載します。



グループワークの成果の発表中



大盛況で笑顔のスタッフ

自分の考えの中にはなかった多職種の意見が聴けて良かった。情報共有の重要性を再認識した。

退所計画の難しさ・退所のタイミングの難しさを感じた。退所後の生活の場に合わせたリハビリが必要。相談科・ケアマネとの連携が大切。

他施設とのリハビリ職との連携の強化。問題点を明確にし在宅復帰につなげたい。



りくつな劇団による寸劇で事例提示

違った視点を自然に持つことができた。同職種・同施設内でも考え方、捉え方が様々だということを知った。在宅復帰以外のテーマでもどんな取り組みをしているのか興味が沸いた。

老健の役割・特徴を改めて感じる事ができた。自分自身のケアの振り返る機会になった。その機会をみんな出来たことが良かった。

寸劇で伝わる事が多かった。ファシリテーターの方がうまく進行してくれたことが助かった。

その時できていたこと、
今だからこそできることを
話し合ってみよう！！



講義・事例紹介

研修の構成が成功例・うまくいかなかった例となっていたことが良かった。寸劇での説明は聞いていて飽きなかった。福祉用具の方・薬剤師の方の意見が普段考えつけない角度からの切り口で非常に新鮮でした。利用者・家族への思いは職種を問わずみんな同じだと実感でき、あとは実践あるのみと感じた。チームケアをスムーズにしたい。多職種から老健の良さを教えていただけた。老健の役割を認識し大変勉強になった。少しでも当施設を使っていたら良かった。



グループワークの内容を発表する現地スタッフ

他の施設との意見交換が出来て新鮮だった。事例をもとに利用者・家族の思いを深く探究出来とても勉強になった。事例を通して多職種の方々の意見が聴け勉強になった。もう少し GW の時間が欲しかった。多職種の意見が聴けとても参考になった。みんなで事例を検討することでより深く考える力が付いたような気がした。



グループワークの最中です